

受信一五三〇八 譯丁一七一〇 電〇〇三四三

戦力概〇
密務

支那方面艦隊口

大海戦力補給部・南西方面艦隊口・氷川丸

機密第〇一一一三四番電

發 聯合艦隊參謀長

第二氷川丸ハ三〇五機密第二七〇九五一番電ニ依ル物件約六五〇班ヲ
搭載シアル所之ガ荷揚ニ關シテハ〇五機密第一一〇九五二番電ニ依ル
高サゴ丸ノ時ト同様防諜竝ニ荷役時間ノ短縮ニ關シ留意アリ度。

通二九〇 天二B(B) G F P

補航
本人
◎



チ二〇一空附ニトアルヲ七六一空附ニ訂正セラレ度。

海軍

3

人

東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下
東	通	二十	五	根	下

三 受信一三二五

開始一四五〇

〇一六二四 作

區

四

通

極秘

機密第〇三一〇二一番電

發

第四南遣艦隊參謀長

宛

軍務局長

大本營海軍參謀部第一部長

一月十日附第二十五根ヲ第四南遣艦隊司令長官直率ニ改編セラルル

ニ開聯シ現ニ大建設部アンボン支部ノ直率ハ協議ノ上停ニ依リ實施

スルヲ適當ト認ルニ付ニ大建設部アンボン支部ハ之ヲ廢シ二十五建

設部ニ併合ソクトニ御取計ヲ得度

第四南遣艦隊機 密第二九一〇〇四番電第二項ニ依ルニ二十六建アシ

ボン支部ヲ二五根ニ編入換ノ件取消ス

東通註 本電再送要求中

通一三二一

呂一〇一八三六七

五二二二

4

一四 受信一四四〇 譯了一五三四 電〇一七三〇 作 概〇
 譯始一五一五

共 符

● 第六艦隊P・第七潜水戦隊P

● 大海・第四艦隊P

機密第〇四一三二九番電

G.F.電令作第四五八號

先遣部隊指揮官へ第七潜水 隊ノ一艦ヲシテ大鳥島作戰輸送ヲ實施

セシムベシ

通二〇三八 呂二E (B) G.F.P 富永 (雨 谷)

5

一四 受 始 傳 一九五二 譯 了 二二二〇 電 〇一八九三 航 作 概 本 〇

五二 航空 基地

四 艦 隊

一 機 動 基 地 航 空 部 隊 P・三 航 空 艦 隊 P

機 密 第 〇 四 一 七 〇 五 番 電

發 第 二 十 七 航 空 戰 隊 司 令 官

宛 參 謀 長

追 濱 海 軍 航 空 降 機 密 第 〇 四 一 〇 二 四 番 電 二 關 聯

貴 地 進 出 ノ 彩 雲 ヲ 以 テ 歸 投 時 P S 偵 察 實 施 方 取 計 ハ レ 度。

通 二 一 九 〇 呂 一 B (B 一 木 更 津

金

第 一 章

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

果
差

●
加
三三三
+

—
通
國
軍

卷之四

1
2
3
4
5
6

暗號軍極秘

圖書集成醫部全錄卷一百一十五

南西大國聯合會

卷八 雜著

人

青島密報三一〇五八番號（十二月）國聯

新井（本）
一〇四三
（本）
水一八二三
鈴木（本）

海軍

親展

至急



一五受
開始

〇〇三五〇〇
五三〇〇

〇八三〇

電〇〇二二二一
電〇〇二二二一
一五

作機
〇

海上護衛總司令部・聯合艦隊各口・支那方面艦隊口・各鎮各警

長・第一護衛艦隊口・二道支艦隊口

機密第〇四二〇五四番電

三分ノ二、三

聯合艦隊電令作第四五九號

一、海上護衛司令長官ハ海上交通保護並ニ對潛作戰ニ關シ左ノ兵力ヲ指揮スベシ

(イ) 海上護衛總司令部部隊（現ニ他部隊指揮官ノ作戰指揮下ニ在ル部

隊ヲ除キ他部隊ヨリ GFB 長官ノ指揮下ニ編入シアルチ加フ）

(ロ) 各鎮守府及各警備府（海警ヲ除ク）部隊中海上交通保護並ニ對潛

作戰ニ從事スル次ノ兵力

通二三九四・二三八六
通二三九七

呂一Bケ三（

B（GF

石川・浦部・村池

（岡崎）

各鎮各警司令部 聯合航空隊 航空隊 海上護衛隊 防備戰隊
 根據地隊（時設根據地隊） 海上交通保護機關 驅逐隊（艦）
 水電隊（艇） 海防隊（艦） 砲艦（隊）（艇） 掃海隊（艇）
 驅潛隊（艇） 哨戒艇 監視艇（以上何シモ時設艦艇ヲ含ム）船
 舶防空隊

（イ）CSF GKF 一二AF GF 附屬部隊ノ一部右兵力ハ所要ニ
 應ジ本職之ヲ指令ス

（ニ）聯合艦隊電令作第四五七號第四項兵力

（三）海上護衛司令部長官ハ左ノ海域ニ於ケル海上交通保護並ニ對潛作戰ヲ
 實施スベシ

北東方面本土附近黃海東海南支那海及南方諸島方面一般海域（北東
 方面支那沿岸及南西方面ノ局地ニ於ケル海上交通保護並ニ對潛作戰
 ハ夫々第十二航空艦隊支那方面艦隊南西方面艦隊各司令長官ノ擔任
 トス）。

8

作戰特別緊急

一五 受信二〇四六 譯了二一三七 電〇二四一七 作概〇
譯始二一四五

六 艦 隊

聯合 艦 隊

機密第〇五一九四〇番電

發 南西方面艦隊參謀長

E B 電令作第四號「ホーランドイア」偵察トニ關聯アリヤ至急返。

通二八一三 呂二B(四二七〇K)三一通

9

作戦緊急親展

一、六、
開始 一三〇一
詳了 一三三〇
〇〇二七三〇
作 続〇

龍 鳳
海上護衛總部隊各戸・神 威



機密第〇六〇七四五番電

發 聯合艦隊參謀長

通報 第七輸送船團司令官

貴機密第〇五一八二八番電返

一兩日ヲ競ヒ即急ニ揚搭ヲ要セザルニ付敵情ニ應ジ機宜行動アリ度
敵機動部隊ハ南下シ比島方面ニ向フ算大ナリト判斷セラル
尙三・四日ノ兩日 臺灣南部ニ對シ比島方面ヨリ大型機來襲シアリ。

通三一二八 天日() 聯合艦隊口

10

一六

受信
始一四四〇五

了二五〇〇 電〇二七八三

作部
〇

● 總無線艦所用共通符號

● 第七潜水部隊

● 大總

臣・第四艦隊・
長・第三航空艦隊・横領

機密第〇六〇八二九番電

第七潜水部隊電令作第五六號

「アキカ」ハ「ラキサ」NANA出撃聯合艦隊電令作第四五八號ニ據ル
AA作戦輸送ニ從事スベシ

通三二二六 呂二B (横通 石田(福田))

人

作戰緊急

一六

電〇二九二二

作概〇

共

符



第一護衛艦隊F・八〇一空上鹿屋

大海軍一部・第二遣支艦隊F・南西方面艦隊F・艦間航空隊・海警
聯合艦隊司令部・一〇・一一各根・九〇一空・九三六空各ト・高

機密第〇六一八三二番電

海上護衛參謀長

比島方面戦局ニ鑑ミ九〇一空飛行艇ハ昭南ニ同陸攻隊ハ其ノ主力ヲ南支
佛印方面ニ配備スルヲ適當ト認ム

又在東港八〇一空飛行艇ハ近ク内地方面ニ配備變更セシメラルル方針ニ付
了知アリ度

病四七八 於一二

12

人

一六 受 始 二〇五四 了七、〇一四〇 電〇三〇六七 作概〇

親展 急



第四艦隊 聯合艦隊

香 取 空 基 地

機密極秘

機密第〇六一九二二番電

發 一 K F G B 指揮官

布 四 F 參謀長

書機密第〇六一二二〇番電返

書意通實施セラレ度。

（東通註 誤字多ク遅延）

通三四〇一 呂三 B 木更津空

13

作戰緊急

一六

受信二二三二二
始二三四〇

丁二三五九

電〇三〇六三

特作

三一連第五分遣隊

機密第〇六二一〇七番電

發 南西方面艦隊參謀副長

宛 南西方面艦隊參謀長

「サンフエルナンド」及「リングアエン」方面敵上陸以後ニ於ケル

該方面ノ戰況及爾後ノ見透シ通報ヲ得度

ニ當方面身体虛弱者及各重要員ノ一部軍屬等B基地及「パロンボン」
一方面ニ轉進ノ準備概セルトコロ同方面ニ於ケル收容ノ能否ノ
見込承知致度。

通三四六一 於一三（四四四）三二一

親展

作戰緊急

九八

受譯
始信

11

FIG.

三



三

雷



九九九

三三三

六五四

子

本報



局長	課長	受	信
A	L	五	五
B	K	譯	丁
E	I	三	三
J	C	電	電
G		電	電
F		電	電

九九九

三三三

六五四

100

參作

本報

三一 通第五分遣隊
大海參一部、聯合艦隊中

機密第〇六二二五番電 其ノ六三

發
G
K
密
謀

苑
G
K
F
長
官

通報
尙
武

一マニヲ
防衛要領要旨

一海軍部隊作戰ヲケウラクナニ西方ヲケウフニ陸軍一ク大隘ヲ力ニ

及「マニラホテル」以南第一二三号を所有する。南洋各地、南洋各地

五〇〇米並ニシカオカ單圓掛物月附込ノ其ノ作圓宜音圓掛作

三三三〇 三五三一 九八八一 (八八八一) 三三三

指揮官マニラ防衛司令官戰團司令所指定1?1?海軍第三一特根隊九〇
 〇〇名基幹約二萬名戰團司令所フジガ岡（死守）

陸軍マニラ市内部隊兵力三ヶ大隊ノ外震洋基地隊第三船舶輸送部隊
 第四航空軍地上兵力等四千五百（マニラ^市死守）山子兵力二ヶ師團半
 兵力約三萬

ミコレヒドル三千陸軍一五〇〇指揮官第三一特根副長多垣大佐
 四マニラ東方。

（東通註 本電再送ノ爲遲延）

15



作戦緊急

八 受信 一三三七 譯了 一五五〇 電 〇三七七〇 作 機 〇

大本營海軍部。聯合艦隊口

第一航空艦隊口。第一聯合基地航空部隊△。三二根下

機密第 〇八〇〇三二番電

發 南西方面艦隊參謀長

「リングエン」灣方面陸軍兵力配備左ノ通

「第十九師團（虎）」「サンフェルナンド」「パリアン」「ナギル

アン」方面ハ「ナギアン」「パギオ」道

「第二十三師團（旭）」「リングエン」附近灣周邊「ボリナオ」附

近「箇中隊」「リングエン」西方隘路一ヶ大隊其ノ他「

西口ヨリ「サンヂヤゴ」ハ「パウアン」南方四軒ニ至ル。

通四二三四 呂一B（八八八四四）三十一道放

16

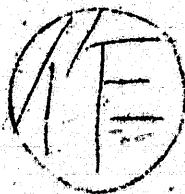
作戰特別緊急

八
受信一二四三
譯始一三一五

譯了一三五五 電〇三七三一

航作概本〇

第一聯合基地航空部隊△



◎ 大海參一部・聯合艦隊口・第一護衛艦隊口
◎ 南西方面艦隊口・第一、第二各戰隊・第二五航戰口・高雄警
◎ バンバン、高雄、東港各航空基地・第一五回航班・第一挺身部隊
◎ 禮號

機密第〇八〇九一二番電

發 一〇FGB參謀長

當部隊特定兵力ノ臺灣移動ハ實施ヲ要スル處大型機可成緊急多數臺灣ニ
集中方時ニ手配ヲ得度

追テ移動ハ夜間實施ヲ要ス 念ノ爲

通四二二三 呂二B・ラーハ(ハハ八四KO)三一通

17

緊急
要務

一八

受信一八七〇六
開始一八二〇六

譯了一九五〇 電〇三九〇六 補人◎

第二一航戰

軍人
事務局

大海參一部・聯合艦隊

機密

機密第〇八一〇二一番電

比島方面ノ新情勢ハ航空作戰ノ主要作戰基地ヲ逐次臺灣ニ移行セシ
ムル趨勢ニアリ 之ガ爲作戰遂行上各基地ニ有力ナル指揮官ヲ配員
スルハ緊急ノ事ナルニモ拘ラズ臺灣空ノ配員ハ舊體依然タルモノアリ
速ニ臺灣補充特別定員表ニ依ル中、少佐級ノ配員ヲ得度。

通四三七〇 呂二B一三五二〇KG 高連 海軍

第十信課

18

作戰緊急

一八 受信 一八一〇
譯始 一八三七

了 一九一七 電 〇三八三六

航作 本艦 〇

第一護衛艦隊 九〇一空

九〇一空 マニラ派遣隊

機密 第 〇八一二〇三番電

マシントン飛行機隊ハ本日未明ノ攻撃ヲ打切セラムヲ撤收飛行

機隊ハ極力搭乗員ヲ收容東港ニ移動セシメタリ

搭乗員二十三名ハ九五五空指揮下ニテ敵船團攻撃泊地偵察ヲ行ヒ
ツツアリ

三各基地搭乗員狀況 准士官以上下士官兵別

マニラ二九・六一 マシントン五・九 サンフェルナンド六

一八 イバ四・一一 ラオアグ五・〇 將來作戰ニ鑑ミ搭乗員

ヲ東港ニ蒐集致度御配慮ヲ得度各基地搭乗員ハ極力マニラ又ハラ

オアグ方面ニ集結ス

右ニ關シ南西方面艦隊司令部三十一根司令部ト連絡済

通四三九二 呂一B (八八八四C) 三十一通放 石川 (同)

19



緊急

一八

共

符

電〇四〇七九

作概〇

七護衛船團(一神威)・一護衛艦隊(三宅 屋久)・時雨
大海参一部・聯合艦隊口・南西方面艦隊口・高警・三一戰隊(二水戰)

機密第〇八一七一三番電

G E B 電令作第三四八號

三宅・屋久ハ一E F長官ノ指揮ヲ承ケ昭南迄ヒ八七船團ノ護衛ニ任ズ

ベシ

ニG E B 電令作第三三八號ニ依ル時兩護衛先ヲ聖雀ニ改ム(G F 電令

第五九二號關聯)

通七六四 天二Aケ三

20



一八

局長	一課長	A	L	B	K	E	I	J	C	G	D

受信 二〇三九
開始 二〇三九
二一四〇
〇四〇六四
作區◎



● 北上・第十一水雷戦隊

● 大海参一部・鹿屋航空隊

機密第〇八一九二六番電

發 聯合艦隊電令 第五九五號

北上ヲ第一訓練部隊ニ編入ス

北上ハ準備出來次第内海西部ニ回航第十一水雷戦隊ニ合同スベシ。

通四四四一 呂一ケ三 (B) G F F

21



八

受信
始 〇〇〇一七〇

了 〇〇三八

電 〇四〇六五

航作
本區 ◎

六 三 四 空

第一聯合基地航空部隊

機密第〇八二二四一番電

發 二航空艦隊參謀長

一月八日附第二〇〇〇戰時編制ヨリ除カル舊二〇〇所屬各部隊ハ新
一 G P Q R 指揮官 (一航空艦隊長官) ノ指揮下ニ從前ノ任務ヲ續行
ノコトニ發令アリタリ念ノ爲メ

通四五一九 於十三 (八八八四 KC) 三十二通放

22



至急



聯合艦隊
東京通信隊

受信
開始 二二〇〇六

丁〇九〇〇

電電電
〇〇〇
五四四
〇九八
八九八
二八三

兵作
機
備〇

機密 〇九一〇一五番電

三分ノ一三三

發 南西方面艦隊參謀長

ルソン島方面海軍關係態勢現狀左ノ通 (指揮官、兵力、總人員、實兵力

其ノ他)

マニラ地區 (三一A B G司令官所在部隊人員一括約三萬一、五大隊
振武集團ノ指揮下)

通五六二七、五六九六、五五七一 呂一B (四二七〇K) 三一通

(一)

ニコレヒドール地區（三一A B G副長、軍人軍屬計三千陸軍部隊一五〇〇

ニヲ統一指揮）

ミクラーク地區（二六航戰司令部舊一G F G B所在兵力及航空廠等ノ要員
員約一萬五千收集成可陸軍ノ統一指揮下ニ入ル様促進中）

四サンフェルナンド地區（美濃部大佐所在部隊廳人員一括約三〇〇〇機
銃五〇機第一九師團長指揮下）

五バギオ地區（直接指揮司令部及各廳要員約一五〇〇、ニヶ小隊）

六レカスレイ地區（三五R G司令第三五警備隊第八一旅團長指揮下）
六非戰闘員ハ「バヨンボン」地區ニ逐次移轉自活態勢ヲ探ラントス。

（東通註 本電誤字多キ爲遲延ス）

23

緊急

大

一〇 受信開始 〇〇五四三 譯了 〇八〇五 電 〇〇四六〇〇二 作機 〇

局長	平春	三航	香取	無
副局長	三航	香取	無	
三航	香取	無		
香取	無			
無				

三航合基地航空部 三航合基地航空部 三航合基地航空部 三航合基地航空部 三航合基地航空部

機密第一九一五二〇番電 二分ノ二

發 四 F 參謀長

宛 G F 參謀長 三 A F 參謀長 一 K F G B 指揮官

P U 偵察速報 一月九日

T 一 一 雲一機 指揮官副 少尉

〇五一〇發一三二五歸着 P U 偵察時間 〇九〇〇一〇九一五高度八六〇〇

米 天候快晴 視界四〇浬

目視狀況

(1) A 二一區及 B 二二區 蒙部大 中型輸送船約五〇

通五二三九・五二三五 片二一ケ三(五二二五 RC) 四通

(一)

- (四) 二五區中型輸送船三
- (ハ) 二六區中型輸送船二
- (ニ) G二七區大巡ラシキモノ一 中型輸送船三
- ニ 水中障害物不明
- 三 篇眞判露後報

24



人

一 九 受信一八四五 譯了二〇〇〇 電〇四五八五
 譯始一九一五
 至 急 總無線艦所用共通符號

整 部施

二七航空戦隊

大海参一部・横通・父島根

機密第〇九一七一〇番電

發 母島警備隊司令

受報者 横須賀鎮守府参謀長 海軍水雷學校長

當隊機密第〇八〇八三〇番電中(長居登中佐述)ニ在ル(軍機第二二

〇號)トアルヲ(長居登中佐述)ニ在ル(水路軍機第二二〇號参照)

ニ訂正サレ度。

(東通註 (軍機第二二〇號)ハ「(長崎)」ト翻譯シアリ)

通四九八七 呂一B(B)横須賀

25

緊急

一 一〇 受信 二四三五 一一 丁 〇〇五〇 電 〇四九九七

参作 本〇

東

通

三一通第五分遣隊

機密第一〇一〇四六番電

四分ノ一

發 Q K F 参謀長

宛 聯合艦隊参謀長 大本營海軍参謀部第一部長

一 艦方面へ「M D」ヨリ「マニラ」間へ陸軍兵力ノ配備左ノ通

二 サンフェルナンド方面虎兵團（歩兵六ヶ大隊山砲七ヶ中隊基幹）

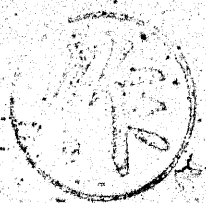
三 ゴア・タモルテス盟兵團（歩兵六ヶ大隊基幹）

四 タモルテス・タグバン旭兵團（歩兵九ヶ大隊基幹）

（電信課註 本電四分ノ二、三、四未着）

通五五六六、居二B（四二七〇K）三十一通

26



緊急

東

通

受信一三三八
開始一四二〇

譯了一五五七

電〇〇八八八六六一
電〇〇八八八六六一

作機〇

三一通五分遺像

機密第一〇一〇四六番電

四分ノ三三四

發 GK 參謀長

宛 GF 參謀長 大海參一部長

(イ) 「カムブワン」 「ピナロナン」 中間戰車一個聯隊

(ロ) 「リングエン」 西方隘路附近一個大隊內一個中隊 「ポリナオ」

(四) 「タルラツク」 方面戰車第二師團長ノ率キル戰車一個聯隊及約歩兵

一個聯隊

(田) 「サンホセ」 方面鐵兵團ノ約五個大隊戰車一個聯隊

内四航軍司令部 「カバナツァン」 方面勤兵團ノ約五個大隊

通九六一八・九六二四・九六三一 呂四 (一) 二八二 (二) 三二五五分遺

ニ中部ルソン平原地帯ノ道路及橋梁ハ東側「マニラ」―「カバナツア
ン」―「サンホセ」―「バヨンボン」ノ道路ヲ確保シ外ハ全部破壊ヲ
下令セリ

三、バキオ方面歩兵二ヶ大隊及一七聯隊ノ二ヶ大隊。

（東通註、本電一未着）



一
一
〇
受
信
始
一
一
五
六
一
〇
六

譯丁一七三〇電〇四八一二

航作
機
本

着南西方面艦隊

東京海軍通信隊・第一聯合基地航空部隊△

クラーク第一聯合基地航空司令部所戰闘

發
南西方面航空廠長

南西方面電令作（第八號）關

機密第一〇二一五番電

局長		一一番電
一課長		春
A		L
B		K
E		I
J		C
	H	
	D	

本職「クラーク」所在海軍部隊先任者トシ最善ヲ盡シ奮闘致度ニ付、
防衛部隊指揮官任命方特ニ御配慮ヲ得度。尙陸海軍指揮系統ニ關シテ
ハ鑒兵團長ハ遠隔ノ地ニアリ所在陸軍部隊指揮官ト協定善處致度。

通五四一四 呂二B(一三五二〇KC) 高通 佐世(太田)

28

親展

人



急

一 二 受 信
〇〇三三八
〇五三八

丁 〇五五〇

電 〇〇五〇五
電 〇〇五〇五
電 〇〇五〇五
電 〇〇五〇五

航 作
本 〇

第一聯合基地航空部隊戸

第六三四航空隊



機密第一

花本參謀

第一AF參謀長

第六三四航空隊ノ作戰ニ關シテハ舊二AF參謀長ヨリ東港ニ移動シ航

空作戰續行スル如ク口頭ニテ内示シアリタルガ如キモ同隊ノ實情(實

動機)ニ關シテ基地防禦力微小ニシテ速ニ左ノ要旨ノ正式指令セラルル要

アリト認ム

通五五七
五五七一
五五七二
五五七五

呂二Bラ十八(四四四二)EC 廿一通

局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三
局長	參謀長	平	工	三	赤	三

新ニ司令ハ差當リ所與最小限（零水二機分程度）ノ隊員ヲ率キ速ニ東港ニ移動次期航空作戰ノ準備總行

二、右輸送用トシテ飛行艇便ヲ設定（臺灣及吳所在水際ナシ他所轄ハ未ダ夜間輸送充當不能ノ由）

三、一部基地員ヲシテ「キヤビテ」「マニラ港」ニ於テ輸送用水上機基地作業ヲ擔任總行ヒシノ爾餘ノ兵力ハマニラ方面所在先任指揮官ノ指揮ヲ受ケ第二十三航空戰隊戰團ニ協力セシム。

29

人

親展

作戰緊急

開始 〇〇八三〇〇

了 一三〇

〇五二三六

航作
本機 〇

停

軍機

小 崗 山 司 令 部
第 二 六 航 空 戰 隊

機密第一〇二一〇五番電

發 宛 H 三 A B 指 揮 官
一 G F G B 參 謀 長

一 當 隊 目 下 實 動 天 山 一 機 ヲ 以 テ 各 基 地 ニ 殘 置 セ ル 破 損 機 ノ 部 品 融 通
ヲ 計 リ 彗 星 天 山 一 式 陸 攻 零 戰 各 一 機 ノ 豫 定 應 急 修 理 ヲ 急 キ 現 任
務 ヲ 續 行 セ ン ト ス

二 當 地 敵 機 ハ 連 日 來 襲 シ ツ ツ ア ル モ 各 基 地 共 概 ネ 發 着 ニ ハ 支 障 ナ シ
三 敵 情 ニ 依 リ 基 地 員 ハ 各 基 地 毎 ニ 陸 戰 隊 ヲ 編 成 シ 該 地 ノ 殘 部 隊 (三二
特 根 又 ハ 陸 軍) ノ 指 揮 下 ニ 入 作 戰 ス 南 菲 空 本 部 員 ハ 特 根 司 令 部 ニ
合 同 ス ル カ 若 ハ 飛 行 機 使 用 可 能 基 地 ニ 移 動 航 空 戰 ヲ 續 行 「ミ ン ダ ナ
オ」 各 航 空 基 地 ニ 不 時 着 シ ア ル 搭 乘 員 ハ 此 ノ 際 極 力 收 容 ニ 努 ア ル ヲ 以

通 五 八 〇 五 呂 二 〇 (七 八 五 五 四) 三 二 通

テ七六一空司令ハ餘剩搭乗員（水戰四〇）ト共ニ飛行便ヲ得次篤淡
水基地ニ轉進再舉ヲ計ラシメ廢。

（東通註 本電誤字極メテ多シ）

30

人

至急

受信一六二〇一
譯始一六二五

譯了二七四〇

電電
〇〇五五
五四二二
七四三三
三八三
軍航作
需本概
〇

根

海上護衛總口・聯合艦隊口

大 海・海軍省・第一南遣艦隊口

機密第一〇二三一八番電三分ノ二三

通電先 吳鎮守府司令長官

宛 聯合艦隊 GEB 各參謀長

發 威總參謀長

威參一電第六二五號

燃料ノ補給及運送ニ對シ昨年末サイゴンニ於テ協議セルモ一貫輸送
實施ノ確算度ニ關シテハ判決ヲ得ルニ至ラズ就テ中央主催ノ下ニ概
本一月下旬頃關係部隊（支・臺・南）及關係海軍一ノ作戰並ニ船舶
關係主任者臺灣ニ會合シ左記諸件ニ關シ對策ヲ促進全軍一貫セル方

通五八六〇・五八二〇・六〇〇三

ロ一B ケ三（一七五九〇）十通
榛原・久保田・セン波（鈴 三）

針ノ下ニ作戰ヲ完遂スルヲ要スル意見ニ到達セルヲ以テ御高臨煩蒙
 一 將來ノ作戰指導要領ノ骨子
 二 臺灣ヲ軸心トスル蘭印方面及將來一貫輸送航路（西航路）ノ兩航
 路帶確保ノ爲諸施策擬ニ空海戦力ノ配分現況及現地側ノ強化對策
 三 情勢惡化セル場合ニ於テ石油運送航路帶ノ保全專任部隊トシテ内地
 地方面ヨリ進出セシメ得ル陸海軍防空及航空戦力ノ見透
 四 G F 及設衛總司令部護衛計畫及送法協力以上石油運送ノ成否ハ一
 ニ之ガ輸送ヲ保全スル空海戦力ノ如何ニ懸スベク特ニ基地航空部
 隊ノ作戰指導要領ヲ明確ナラシムルノ要アリト思考シアリ。